

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ほっぷ蒲郡		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 10日 ~ 2026年 2月 27日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2026年 1月 10日 ~ 2026年 2月 27日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 27日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画に基づいた一貫した支援が行われていること	アセスメントに基づき、児童一人ひとりの特性や家庭の意向を踏まえた個別支援計画を作成し、職員間で共有した上で支援を行っている	モニタリングや振り返りの機会を通じて計画内容の精度を高め、より児童の変化に即した支援につなげていく
2	保護者との信頼関係が築かれ、安心して利用できる体制が整っていること	日常的な連絡や面談を通じて、児童の様子や支援内容を丁寧に伝え、保護者の思いに寄り添った対応を心がけている	情報共有の方法や頻度を見直し、より双方向でのやり取りがしやすい体制を整えていく
3	安全管理や緊急時対応に関する体制が整備されていること	各種マニュアルの整備や訓練の実施により、事故防止や非常時対応について職員間で共通理解を図っている	訓練内容や周知方法を定期的に確認し、保護者にもより分かりやすく伝えていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	生活空間や設備面において、十分とは言えない点があること	建物構造上の制約により、トイレの広さや数、完全なバリアフリー化が難しい状況がある	改修計画を進めるとともに、現状の中でできる環境調整や動線の工夫を継続して行っていく
2	職員間の打合せや振り返りが当日中に行にくい場合があること	送迎業務等により、全職員が同じ時間に集まることが難しい	情報共有の方法を見直し、記録やツールを活用して支援内容や気づきを確実に共有できる体制を整えていく
3	地域や他機関との交流・連携の機会が限定的であること	受け入れ先のルールや理解の違いにより、交流が進みにくい状況がある	他事業所との交流を継続しつつ、地域機関とも段階的に関係づくりを進め、連携の幅を広げていく